

令和元年度第2回 宗像市健康づくり推進協議会議事録（要旨）

日 時： 令和2年1月28日（火）
19時00分～20時10分
場 所： 市役所北館1階103会議室

出席委員：大重委員、旭委員、栴田委員、三戸委員、高宮委員、中谷委員、鏑委員、石松委員、森岡委員、北野委員、吉永委員、大門委員、今西委員
事務局：【健康福祉部長】北原部長 【健康課】林田課長、西川参事、大森企画主査、柴田主任管理栄養士

（事務局）宗像市健康づくり推進協議会規則第5条第2項により、現在、委員15人のうち13人の参加があるので、会議は成立。

1 開会あいさつ

（大重会長よりあいさつ）

2 議事録署名人について

（大重会長）議事録署名人について、委員名簿順に、北野委員、吉永委員の2名を提案したい。
⇒承認

3 報告事項

- （1）H30年度の取組状況および今後の取り組みについて 【別添1】
（大重会長）事務局から説明を。
（事務局：柴田）【別添1】説明。
（大重会長）質問があれば挙手を。
⇒なし

- （2）第2次健康むなかた21及び第2次健康むなかた食育プラン
中間評価のためのアンケート調査結果について 【資料1】

（大重会長）事務局から説明を。
（事務局：柴田）【資料1】説明。今回より、調査票の有効回収率は、18歳以上が45.4%、中学生が91.9%、小学生が96.3%、4歳児の保護者が50.9%で、前回、H25年度の調査を若干下回る結果となった。
（大重会長）意見、質問あれば。なければ私から。18歳以上と4歳児の保護者は、郵送法で実施しているが、これは、回収率が30%台でもよしとされるもの。宗像市はかなり回収率が高く、協力的なことがわかる。

4 協議事項

- （1）中間結果をふまえた健康づくりと食育の推進における
現状と課題について 【資料2】

（大重会長）事務局から説明を。
（事務局：柴田）【資料2】凡例説明。
（事務局：大森）【資料2】第2次健康むなかた21現状と課題説明。がん検診の受診率の上段は、市が実施するがん検診受診者の割合。中間評価の値が悪いのは、H28年度に国が受診率の算定方法を変更した影響と考える。下段は市民アンケートで、がん検診を受けていると答えた人の割合。修正案にあるように、指標と目標値を国・県に合わせたい。指標は、国・県が国民生活基礎調査というアンケート調査の値を使用していることから、市でも市民アンケートの値を用い、目標値も国・県にならい50%としたい。

生活習慣病対策については、特定健診に関する目標年度を、市が H30 年度に策定した、第 2 期データヘルス計画・第 3 期特定健診等実施計画との整合を図るため、本来は令和 6 年度が目標年度だが、これらの目標年度である令和 5 年度の値を当面の目標としたい。

(大重会長) 質問があれば。委員のみなさんが考えておられる間に私から。特定健診について、H27 年度の福岡県内の平均データと比較すると、健診受診率の県平均は 45.3%なので、宗像市は低い、特定保健指導実施率は、県平均が 19.7%のところ市は 63.1%と非常に高い。これに関して、何か取り組みがあれば知りたい。

(事務局：大森) 特定健診受診率について、県の平均値にはおそらく全保険者の値が入っている(ので高い)と思うが、市も中間目標値に達していないので、個別に受診案内を送付したり、地域のイベントで受診勧奨の取り組みを行ったりしている。特定保健指導については、指導率向上のため数年前から指導方法を変更した。従来どおりの健診後に受診者が参加する「結果相談会」に代えて、健診結果を持参して、押しかけの訪問指導を開始した。

(大重会長) 積極的に押しかけても受け入れはいいのか。

(事務局：大森) 戸惑う人もいるが意外と受け入れられている。

(大重会長) 他の委員から何かあれば。

(委員) 次世代の健康づくりの推進について、TV・DVD を 2 時間以上観る子どもの割合は減少傾向、電子ゲーム・携帯電話・パソコンの使用時間が 2 時間以上の子どもの割合は増加傾向にある。TV・DVD を観る時間が減っているのはいいことだが、実はネットを介して TV・DVD を観ることもできるため、これらを合わせてメディアという形でとらえていく必要も出てくると思う。

(事務局：大森) 調査結果を見て、5 年前とは子どものメディアと関わる状況が変わっていることを感じた。今後は考慮したい。

(大重会長) SNS の利用状況なども必要になるかもしれない。

(事務局：柴田) 【資料 2】第 2 次健康むなかた食育プランについて説明。中間目標を達成したもの、達成しなかったものが約半々。宗像の郷土料理・行事食を知っている子どもの割合が目標値を大きく超えた。これは、2 次計画策定時の計画の目玉として「郷土料理の普及啓発をとoshita 食育」を掲げ、郷土料理カードを作成し、全小中学校に配布、食生活改善推進会が学校で教室を行うなど、学校家庭地域が連携して積極的に取り組んだ結果と考えている。

(大重会長) 質問があれば挙手を。

(委員) 郷土料理の数値が上がっているのはありがたい。毎年、小学校 5 年生から郷土料理を教えてほしいと声がかかり、いつも楽しみに学校に行っている。毎回あらためて勉強になる。

(委員) 学校の様子は、毎回、郷土料理のフルコースのように何種類も作っている。どれも美味しく、郷土のよさを再認識する場となっている。調理だけでなく、レシピを市内の公共施設などに設置したり、校内に置いて保護者に配布したりなどして広めている。

(大重会長) こういった地道な活動が結果に結びついていると思う。他にあれば。

(委員) 次世代に受け継ぐ食育のところで、低出生体重児出生率の市の値が改善されている。

福岡県は国の値を(悪いほうに)上回っていて、課題となっているので、宗像市の結果は喜ばしい。関係者あがての妊娠期からの支援の結果だと思う。これは今後とも重視すべき項目。

(大重会長) 低出生体重児というのは、2,500g 未満で生まれる子どものこと。以前からの懸案事項が少しずつ改善している。

(2) 今後の健康づくりと食育の推進における取り組みについて

【資料 3】

(大重会長) 事務局から説明を。

(事務局：大森) 【資料 3】第 2 次健康むなかた 2 1 の見直し案説明。これらは、先に説明した第 2 次健康むなかた 2 1 の現状と国の動きをふまえ、課題を前向きに表現している。また、本計画の上位計画である『第 4 次保健福祉計画』との整合をとっている。

(大重会長) 質問があれば。私から、運動習慣のある人の割合が上がっていない。運動を継続でき、より健康的な生活習慣に取り組めるよう具体的に検討していることがあれば知りたい。

(事務局：大森) 運動習慣については、健診後の結果説明時に運動についての話をしている。

また、特定健診受診者に対し、スポーツ施設利用助成の紹介をしている。これをきっかけに、継続してもらえればと考えている。高齢者については、地域の住民主体の通いの場で、運動機能の向上について取り組んでいる。

(大重会長) (宗像市は) 散歩をしている人が多いと感じるが、実態はそうでもないようだ。これらの取り組みになどで徐々に増えるとよい。

(大重会長) 次に、食育プランについて事務局から説明を。

(事務局：柴田) 【資料3】第2次健康むなかた食育プランの見直しについて説明。

(大重会長) 質問があれば。

(委員) 次世代に受け継ぐ食育に関して、女性の適正体重の話があったので、若年女性の朝食欠食率の状況について知りたい。

(事務局：柴田) 現在集計中。

(大重会長) 他にあれば。

(事務局：柴田) 今回協議した見直し案については、今後、2/18から3/20の期間、パブリックコメントを実施し、そこで出た意見をふまえて今年度中に完成版を作成し、来年度以降広く周知する予定。

(大重会長) パブリックコメントの提出はメールでも可能なのか。

(事務局：柴田) 提出方法は3通りある。健康課窓口へ提出、健康課へ郵送、また、市のホームページのパブリックコメントのページからの提出ができる。

5 事務連絡

(1) これからの健康づくり事業について

【別添2】

(大重会長) 事務局から説明を。

(事務局：西川) 【別添2】これからの健康づくり事業について説明。

(大重会長) 様々な行事があるので参加を。

(2) 委員の委嘱について

(大重会長) 事務局から説明を。

(事務局：西川) 現委員の委嘱期間は、1月31日だが、次の委員選出について、来年度の協議会開催時に、各所属団体に推薦依頼するので、協力をお願いしたい。

6 その他

(大重会長) その他、何かあれば。

(委員) JA むなかたから配布資料の説明をしたい。(配布資料説明) 毎年開催している文化講演会、今年は石原良純氏による「人生の楽しみ方」を予定している。

(大重会長) 他になければ以上で協議事項は終了、進行を事務局に代わる。

7 閉会あいさつ

(北原健康福祉部長) 委員の団体の数多くの取り組みに驚いた。協力に感謝したい。今回は、市の健康づくり、食育2つの施策の推進の拠り所となる計画の見直しを行いお陰で案ができた。委員の任期は終わるが、引き続き支援と協力をお願いしたい。

以上